

緑陽台認定こども園 園長だより

令和4年10月18日 緑陽台認定こども園 No.15 文責：川原

10月のお誕生会



10月13日(木)10月生まれさんのお誕生会が行われました。10月のお誕生会もコロナウイルス感染症予防のため、以上児さんと未満児さんの時間を分けて分散開催としました。9月のお誕生会に参加できなかった9月のお誕生児さんも一緒にお祝いしましたよ。

以上児さんのお誕生会では、10月にお誕生日を迎えた8名のお友だちがステージに上がりました。自己紹介やごきげんうかがいのお歌では、ちょっぴり恥ずかしそうにしながらもしっかりお客さんの方を向いて答えてくれていました。大きくなったらなりたいものを「アイスクリーム屋さん」や「魔法使い」「看護師さん」などと教えてくれましたよ。

未満児さんのお誕生会では、9月生まれのお友だち2名がステージに上がり、みんなでお祝いをしました。自己紹介では、先生と一緒にマイクに向かってお話ししてくれました。好きな食べ物を「スイカ」「トマト」と、教えてくれましたよ。

どちらのお誕生会でもお楽しみは、あんな先生による「ペットボトルマジック」でした。透明の水が入ったペットボトルに「ちちんぷいぷい」とみんなで魔法をかけると・・・？ あら不思議?! 透明の水がジュースに大変身!! “オレンジジュース”や“ぶどうジュース”“メロンジュース”など、たくさん魔法をかけていろんなジュースを作ってくれました☆



10月17日(月)は葵学園の「豚丼の日」でした。
美味しい豚丼をモリモリ食べた子どもたちです♪



☆特色ある教育☆(動物ふれあい・食育)

緑陽台認定こども園では「特色ある教育」として英語や食育や命を学ぶ教育を取り入れています。今月は、年長児が「命を学ぶ学習(動物ふれあい教室)」と「食育活動」を行ないました。26日(水)・27日(木)に行われる以上児の英語活動は、ハロウィンにまつわる内容を行う予定です🎃

動物ふれあい教室

10月7日(金)年長児が帯広動物園へ行き「動物ふれあい教室」を行いました。飼育員さんがモルモットの生態について教えてくれて、心音を聞く機械を使ってモルモットの心臓の音も聞かせてくれました。小さい動物は心臓の音が早いということを体験して学ぶことができました。一匹ずつのモルモットを膝にのせて、実際に触ったり、なでたりすると、「耳が小さいね」「体が柔らかい♡」「(心臓が)ドキドキ動いている!」と気が付くことも多く、身をもって『命』の存在に気づき、『命』の大切さについて学ぶ貴重な体験となりました



食育(3回目)

10月12日(水)まつもと薬局から管理栄養士の小林さんに来ていただき、年長児の食育活動を行いました。今年度の食育活動は3回目です。これまでの活動の振り返りでは、3色の食品群について覚えていてしっかり答えてくれるお友だちが多かったです。

3回目の今回は、本物の食品を3色の食品群に分けるゲームをした後、手袋をして本物の食品に触れて、いろいろな食品の感触を確かめました。小林さんから「レタスとキャベツは似ているけれど重さが違う」ということを教えていただき、早速片手ずつに持って重さを比べているお友だちや、おおきな鮭の口の中をのぞいているお友だちもいて、普段はあまり触ることがない食品にも触れて楽しみました。



避難訓練

9月30日(金)ヤマト商会さんにご協力いただき火災の避難訓練を行いました。未満児さんも含め、全園児でグラウンドへ避難する訓練を行いました。未満児さんはお遊戯場に集まり、お遊戯場から先生と一緒に避難をしました。初めてでしたが、先生の後をついて避難する姿は立派でした。

以上児さんは、各クラスから階段を下りて園児玄関から避難します。姿勢を低くし、手を口に当てて真剣に階段を降りてくる姿は、さすがでした。

避難の後には、ヤマト商会さんに訓練の大切さをお話ししていただき、水消火器を使って消火訓練をしました。「火事です!!」と声を出し、水消火器を使って消火訓練をする先生たちをみんなで応援してくれました。



10月14日(金)音更消防署さんにご協力をいただき、火災の避難訓練をしました。火災を知らせるベルが鳴ると、クラスの先生のお話をよく聞いて避難しましたよ。前回の避難訓練の時と同様に、真剣に避難できていました。今回は消防車も出動し、子どもたちの避難が終了したことを確認した後、消防士さんが放水し消火するところまで一緒に訓練してくれました。サイレンを鳴らして登場した消防車が勢いよく放水する様子をキラキラした瞳で見入っていた子どもたちです。避難訓練の後にはお遊戯場で火遊びの恐ろしさを教えてくれるDVDを鑑賞してお勉強しました。

10月19日~21日はリズム参観です。

リズムあそびについて

緑陽台認定こども園では、心身共に健全な身体作りを目指して日頃の保育にリズムあそびを取り入れています。人の成長・発達には全身を使った活動の経験が何よりも大切となります。

リズム遊びは0才~5、6才に至るまでの首・背筋・腰・足・腕・手などの基礎的な動きをとらえ、リズムに合わせて楽しく身体を動かしながら行う身体作りです。

人間は、寝返り→ハイハイの過程を経て二足歩行を獲得します。“歩くこと”を獲得し、足の裏を使って激しく動き回ることにより“土ふまず”もでき“脳”も発達してくると言われています。散歩やリズム運動は毎日欠かせないことなのです。

リズムあそびでは、子どもたちが全身を使い伸び伸びと躍動することによって、手足の筋肉から脳に刺激を与え喜びの表情が生まれると言われています。身体作りと同時に子どもたちの「自分を表現する力」を大切に取組んでいます。

発達年齢に合わせて徐々に様々なリズムを取り入れ、年長組での到達点『しなやかな身体作り』を目標に取り組んでいます。